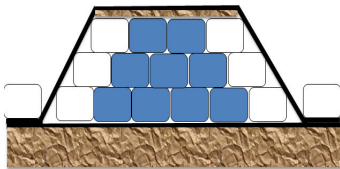


仮置き場のイメージ



遮水シートを敷き、その上に住宅除染で発生したフレコンバッグを並べ、その周りを汚染されていない土の入ったフレコンバッグで囲みます。上部に汚染されていない土で覆い、その上を防水シートで包み込む形となっています。



写真右：仮置き場のはいだ表土の一時仮置きの様子
写真左：工事が進む長屋地区の仮置き場

和田、仮置き場への搬入始まる！

仮置き場は低線量

和田地区の仮置き場の造成が進み、8月1日から住宅除染で発生した土砂の入ったフレコンバッグの搬入が始まりました。市ではすべての搬入が終わるまでは4カ月程度かかると考えています。

7月30日には、仮置き場の状況を見てもらおうと、行政区長と和田地域づくり振興会役員の皆さんに集まっていただき、見学会を開催しました。

見学会では、造成前2・0マイクローシールドであったものが、造成後0・1まで下がったことや表土をはいだ土の入ったフレコンバッグを集めても、周囲を汚染されていない土の入ったフレコンバッグで覆うなどして、空間線量は上がらず、仮置き場は、周辺より低線量であることがわかりました。

長屋地区でも仮置き場の工事が進んでいますのでお知らせします。

◆問い合わせ先

放射能除染・

モニタリングセンター

☎6312682



広報もとみや 号外

平成25年
8月7日発行
本宮市
秘書広報課
☎33-1111

No.33

【市からのお願い】広報もとみや号外は、地震災害、放射能問題など市民の皆さんに広く周知するものについてお知らせしています。閲覧される場合は、なるべく早く次の方に回覧していただきますようお願いいたします。

埼玉県上尾市と友好都市締結！

交流の絆を深め ともに誇れる郷土に！ アッピーとまゆみちゃん婚約！

7月31日に、埼玉県上尾市で「上尾市・本宮市友好都市協定締結式」が執り行われました。

この協定締結式は、両市の市民の皆さん約360人が見守るなか行われ、上尾市の島村市長と高松市長がそれぞれ協定書に署名して交換し、文化・スポーツ・経済など幅広い分野にわたり両市の交流の絆を深め、両市の一層の発展を誓い合いました。

島村市長は「相互に協力し合い、共に誇れる郷土にしていきたい」と延べ、高松市長は「交流の絆を深め、将来にわたって一層の発展を続

けていきたい」とあいさつをしました。

締結式終了後、上尾市のイメージキャラクター「アッピー」と本宮市のイメージキャラクター「まゆみちゃん」の婚約式が行われ、将来の結婚を誓う誓約書にサインをしました。また、上尾小学校の皆さんによる合唱や安達太良太鼓の演奏により会場は大いに盛り上がりました。

協定の内容など詳しくは、広報もとみや9月号(8月27日配布予定)で紹介します。



友好都市締結式の様子



アッピーとまゆみちゃん、婚約式



協定締結に立ち会う両市の市民の皆さん



水道水・井戸水

安心してお飲みいただけます

■井戸水の安全性

本宮市の井戸水から放射性物質は検出されていません。

井戸水の放射性物質検査件数

年度	件数
平成23年度	456
平成24年度	76
平成25年度	23
合計	555

※平成25年度の件数は7月末日までの累計です。

市内の井戸水の放射性物質検査は、平成23年10月から実施しており、計555件の井戸水の調査を行いました。現在まで放射性物質は一切検出されておりませんので、安心してご利用いただけます。



本宮市放射線健康リスク管理アドバイザー
野口 邦和氏

日本大学准教授2012年4月～
福島大学客員教授2011年10月～

野口先生の助言

本宮市内の飲料用の井戸水については、一般的に表土に降った雨水が時間をかけて浸透しながら、自然にろ過されて地下水となったものであり、放射性セシウムの混入はないと考えられます。また、井戸については、通常は蓋などが設置されていることから、大気中からの雨水や異物の混入もなく、今回の事故の影響はないと考えられます。事故直後に大気中に放射されたセシウムは、表土中に放射性セシウム成分に強く吸着されています。そのため放射性セシウムは表土中に存在しています。降雨などに

で地中に潜るとしても非常に遅く、長い期間をかけて自然にろ過されるため、井戸水源となる地下水にセシウムが到達することはなく、安全に飲用できます。

■水道水の安全性

本宮市の水道水については週3回の放射性物質モニタリング検査を行っています。放射線物質は検出されていませんので、安心してご利用ください。最新の検査結果は、本宮市ホームページよりご覧ください。

野口先生の助言

水道水の放射性ヨウ素と放射性セシウムについては毎週検査を行っています。放射性物質は検出されていません。安心して利用ができます。

■ストロンチウムとトリチウムの影響について

福島第一原子力発電所敷地内の観測用井戸水から放射性ストロンチウムとトリチウムが検出されましたが、これは、敷地内で汚染水が漏洩したものであり、本宮

市の水道水への放射性ストロンチウムやトリチウムの影響はありません。

野口先生の助言

「本宮市の水道水源水の放射性ストロンチウム濃度やトリチウム濃度は、ほとんどが検出限界以下です。一部にトリチウムがごく微量検出されているのは過去の大気圏内核実験に由来するものであり、福島県内および全国のデータと変わらず、まったく問題になりません」

◆問い合わせ先

井戸水に関すること
放射能除染・
モニタリングセンター
水道水に関すること
上下水道課
☎ 33-1111
(内線117)



農産物のモニタリング状況について

■市内自家用農産物の持込み上位40品目 【平成25年7月分】



No.	品名	件数	検出されたものの内訳(単位:ベクレル)		
			100ベクレル以上の検出数	最小値	最大値
1	梅	112	1	10.02	425.00
2	ジャガイモ	106	0	14.61	24.06
3	キュウリ	68	0	13.60	13.60
4	ナス	65	0	16.30	18.20
5	サヤインゲン	40	0	検出せず	検出せず
6	カボチャ	37	0	11.24	40.30
7	タマネギ	32	0	14.60	14.60
8	トマト	31	0	検出せず	検出せず
9	ジャガイモ(皮つき)	30	0	11.77	38.85
10	トウモロコシ	14	0	11.12	19.43
11	スイカ	13	0	検出せず	検出せず
12	ゴーヤ	13	0	検出せず	検出せず
13	ミニトマト	12	0	検出せず	検出せず
14	枝豆	11	0	29.93	29.93
15	青しそ	11	0	15.53	20.26
16	ピーマン	10	0	検出せず	検出せず
17	シソ	10	0	21.00	74.62
18	梅干	10	0	18.62	64.98
19	ネギ	8	0	検出せず	検出せず
20	オクラ	8	0	検出せず	検出せず
21	赤シソ	8	0	15.94	15.94
22	モロヘイヤ	8	0	11.70	11.70
23	ズッキーニ	8	0	検出せず	検出せず
24	キャベツ	6	0	検出せず	検出せず
25	人参	6	0	検出せず	検出せず
26	ブルーベリー	6	0	17.51	22.11
27	びわ	6	0	10.88	14.01
28	ツルムラサキ	5	0	検出せず	検出せず
29	メロン	5	0	検出せず	検出せず
30	ブラックベリー	4	0	検出せず	検出せず
31	プラム	4	0	検出せず	検出せず
32	ニラ	4	0	検出せず	検出せず
33	空芯菜	3	0	検出せず	検出せず
34	シントウガラシ	3	0	検出せず	検出せず
35	ミョウガ	3	0	16.50	16.50
36	アンズ	3	0	検出せず	検出せず
37	ニンニク	3	0	検出せず	検出せず
38	タケノコ	2	0	27.50	70.46
39	大豆(青豆)	2	0	29.87	29.87
40	レタス	2	0	検出せず	検出せず

7月に値測定した自家用農産物の測定結果は下表のとおりです。**自生している山菜類は放射性物質の値が高くでる傾向があります。**引き続き、ご注意ください。食べる前には測定することをお勧めします。



放射能除染・モニタリングセンターの自家用農産物測定の様子

◆検査の申し込み先・問い合わせ先
放射能除染・モニタリングセンター
☎63-2682

◆問い合わせ先
放射能除染・モニタリングセンター
☎63-2682

◆補助限度額
構成員
50人未満 15万円
50人〜100人 10万円
100人以上 20万円

◆対象経費
（作業は12月末まで）
消耗品費、燃料費、印刷費、保険料、委託料、使用賃借料、食糧費、備品購入費などで詳細はお問い合わせください。

◆実施主体 町内会や行政区などの地域住民団体
◆交付申請期限 11月29日(金)まで
（作業は12月末まで）

市では、放射線量の低減を図るため、町内会や行政区などが自主的に側溝の清掃や草刈りなどに取り組んでいただく活動を支援します。詳しくは放射能除染・モニタリングセンターにお問い合わせください。

日常生活で
本市線量低減活動支援事業

野生きのこの採取・出荷等について

〜福島県からのお知らせです〜



野生きのこのシーズンを迎えるようとしています。福島県の野生きのこの放射性物質のモニタリング検査では国の基準値を超える放射性セシウムが検出され、次の市町村で採取された野生きのこの採取および出荷が制限されています。

【採取および出荷が制限されている市町村】
採取 いわき市、南相馬市、棚倉町の3市町
出荷 中通りの全市町村、浜通りの全市町村、会津(喜多方市、猪苗代町、会津坂下町、磐梯町、北塩原村、昭和村)

今年度も、野生きのこの採取が本格化する前の早い時期にモニタリング検査を実施し、その結果を皆さんにお知らせしていくこととしております。ご理解とご協力をお願いいたします。なお、野生きのこの採取する際、次の点にご注意ください。

○採取および出荷が制限されている市町村の区域で採取された野生きのこは、出荷や流通の自粛をお願いいたします。

○野生きのこの発生情報は、最寄りの農林事務所へお知らせいただき、モニタリングにご協力をお願いします。

○モニタリング結果は新聞や福島県・市町村ホームページなどで公開しています。

○自家消費用の野生きのこは、市の放射能除染・モニタリングセンターで放射性物質の検査を行っています。なお、市で受け付けた自家消費農産物測定結果は、市ホームページで公開しています。

○食中毒防止のため、疑わしい、知らないきのこは採らないでください。また、判断に迷う場合は、郡山市林業研究センター(☎024-945-2160)またはきのこ振興センター(☎024-947-2188)で相談に応じています。

◆問い合わせ先

- 福島県北農林事務所
森林林業部林業課
☎024-535-0323
- 本宮市役所 農政課
☎33-111-1(内線157)
- 白沢総合支所 産業建設課
☎44-2115(直通)
- 放射能除染
・モニタリングセンター
☎63-2682

住宅除染の作業結果のお知らせ

7月31日現在の市内の除染作業の進捗状況は、和田地区はほぼ終了し、長屋地区は50%終了しています。

また、7月からは高木井戸上地区の除染作業が始まり、8月からは高木地区の全域と仁井田地区と順次除染が始まります。

除染がほぼ終了した和田地区住宅除染の作業前後の線量と平均低減率は、次のとおりとなっておりますので、お知らせします。

単位：マイクロシーベルト/時

雨どい
 【作業前】0.21~56.0
 【作業後】0.04~4.29
 【平均低減率】**64.17%**

室内2階
 【作業前】0.10~0.60
 【作業後】0.08~0.38
 【平均低減率】**29.18%**

玄関付近
 【作業前】0.13~1.50
 【作業後】0.02~0.96
 【平均低減率】**46.37%**

室内1階
 【作業前】0.09~0.58
 【作業後】0.07~0.35
 【平均低減率】**28.91%**



庭(土)
 【作業前】0.23~3.53
 【作業後】0.13~0.96
 【平均低減率】**51.57%**

庭(コンクリート・アスファルトなど)
 【作業前】0.19~34.0
 【作業後】0.10~0.81
 【平均低減率】**54.60%**

住宅除染が終わって



大内由幸さん
(和田字桜本)

本宮市の除染が和田地区から始まり、我が家も除染により建物内や周りの線量も見違えるほど下が

りました。仮置き場ができるまでの間、休耕田にフレコンバッグを一時保管していましたが、ようやく持って行ってくれることになって家族も安心しています。原発事故さえなければ、このようなフレコンバッグは発生しないし、置くようなところは必要ありませんでした。

長屋地区やもとみや台の除染も進んでいるようですが、仮置き場が決まっていない地区もあると聞いています。

和田地区のように一時保管しないように早く仮置きする場所が決まることを祈っています。

◆問い合わせ先

放射能除染・
 モニタリングセンター
 ☎63-2682